

平成 2 3 年度

事業報告書

公益財団法人豊田市国際交流協会

平成23年度事業報告

公益財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association：T I A）は、昭和63年10月の設立以来、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本柱とし、地域の国際化を推進しております。

平成23年度は、多文化共生推進講演会をはじめとした国際の日、小中学生のための国際理解教育プログラム、在住外国人の生活や就職を支援するための日本語教室、多言語翻訳・相談等の事業を実施してまいりました。

去る平成23年3月に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故では、海外からの親善使節団の来日中止・来日期間の短縮や来日者数の減少等、様々な影響がありました。一方、東北地方の国際交流協会やNPO法人とともに被災した在住外国人を支援するため、翻訳ボランティアを募集し、多言語で情報を提供したり、T I Aのボランティアグループが主体となり、募金活動のためのイベントを行ったりするなど、地域や分野を超えた活動をいたしました。

一方、平成23年4月の公益財団法人移行を契機に開始いたしました賛助会員の募集では、個人653件、団体法人82件のご加入があり、1,473,000円もの賛助金をいただきました。今後皆様からいただきました浄財を有効に活用させていただくために、ボランティアや関係団体の皆さんとの連携をより密にし、時代に即した事業を積極的に行うことで、外国人を含め誰もが安全で安心して暮らせる国際のまちづくりを目指してまいります。

公益目的事業1

地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 国際親善使節受入（豊田市委託事業＋自主事業）

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めた。

ア ウェイン州立大学（米国デトロイト市）

平成23年度は東日本大震災の影響で、6月に予定されていた来日が中止となった。平成24年度の実施に向けて調整を行った。

イ 桜花学園大学留学生（韓国）

時 期 平成23年11月26日（土）～27日（日）

受入人数 6人

ウ International Educators to Japan（I E J）

海外進出日系企業の駐在員の子どもを受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待するプログラムへの協力。デトロイト市などからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、豊田市内の企業や学校を訪問するはずであったが、

東日本大震災の影響で、受入れは中止となった。

エ World Campus International (W C I)

「国際的・多文化体験を求めている若者を世界中から集め、日本を訪問し、ホームステイや地域活動などを通じて参加者の国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養い、多様な活動や交流を行うことで、国際的な視野を持ち、表現、行動できるような人材を育成している非営利の体験型国際教育団体」W C Iのプログラムに協力し、市民との国際交流の場を提供した。

時 期 平成23年8月6日(土)～12日(金)

受入人数 18人

オ デトロイト姉妹都市交流交換学生(米国デトロイト市)※

豊田市の姉妹都市であるデトロイト市の交換学生を受け入れて、ホームステイ、市長・議長表敬訪問、市内の施設見学を通し、豊田市や日本に対する理解を深めた。 ※本事業は豊田市委託事業

時 期 平成23年7月19日(火)～8月3日(水)

受入人数 5人

(2) ナショナルデーの開催(豊田市委託事業)

とよたグローバルスクエアにおいて世界の国や地域の文化及び生活を紹介することにより、外国人住民と市民との交流の場を提供した。

時 期 平成23年4月10日～平成24年3月4日

日曜日 午後2時～3時

内 容 全13回(中国は2回開催)

12の国(アメリカ・メキシコ・オランダ・中国・ハンガリー・スイス・シリア・タイ・パプアニューギニア・フランス・イタリア・ジャマイカ)の文化紹介の講演、歌や踊りの披露。

参 加 者 延べ760人

(3) 「国際の日」事業の開催(豊田市委託事業)

T I Aが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるように各種の事業を行った。

ア 多文化共生推進講演会

時 期 平成23年10月1日(土) 午後1時30分～3時

内 容 「Managing multiculturalism and change in the UK～イギリスにおける多文化主義と変化～」と題し、多文化共生に関する英国の歴史と最新の動きについて、専門家の視点から講演をし、

参加者と意見を交換した。
参加者 100人
講師 ハリス・バイダー（英国コベントリー大学教授）
場所 とよたグローバルスクエア

イ 草の根座談会・交流会

時期 平成23年10月1日（土）午後6時～8時
内容 ハリス・バイダー教授との座談会、交流会を行った。
参加者 30人
場所 保見第2集会所

ウ 多文化交流イベント「とよたグローバルプラザ」

時期 平成23年10月2日（日）午前11時～午後3時
内容 「国際交流・多文化は楽しい」をテーマにした多文化ステージと広場を開設、TIAボランティアグループによるブース出展、フェアトレード製品販売、エスニック屋台（インド・ブラジル）の出店、世界（ペルー・イタリア・ハワイ・インドネシア・ブラジル）のダンスや音楽。
参加者 延べ800人
出演団体 10団体
場所 シティプラザ（B館T-FACE 1F）

エ 「私の国際」フォトコンテスト

時期 【募集】平成23年7月5日（火）～8月31日（水）
【表彰式】平成23年10月2日（日）
午後0時30分～1時
【作品展示】①平成23年10月2日（日）
午前11時～午後3時
②平成23年10月4日（火）～14日（金）
午前8時30分～午後5時15分
内容 「これぞ国際！」をテーマに、国際と聞いてイメージするものを撮影した写真のコンテストを中・高校生の部、一般の部（35歳以下）の2部門で実施し、最優秀賞・優秀賞・佳作の表彰と、応募者全員の作品展示を行った。
応募者 93人（中・高校生の部44人、一般の部49人）
場所 【表彰式】イベント「とよたグローバルプラザ」ステージ
【作品展示】①イベント「とよたグローバルプラザ」会場内
②豊田市役所南庁舎1階ロビー

オ 世界のことばカードの配布

時 期 平成23年10月3日(月)
内 容 豊田市内小・中・養護学校で実施される国際の日給食に併せ、
25言語の言葉を紹介するカードを児童・生徒を中心に配布し、
併せて、一般市民にも配布した。
配布部数 42,000部

カ 市内観光モデルコースの作成と紹介

内 容 T I A ボランティアグループ E - I F F の協力を得て、短期来
訪外国人がいつでも、一人でも楽しめる豊田市駅を発着地点と
した市内観光モデルコースを英語で作成し、市民に配布した。
コ ー ス 豊田市足助地域
配布部数 1,000部

キ 多文化カレンダーの作成

内 容 異文化への理解を図り、多文化共生社会を促進するためのカレ
ンダーを作成し、市民に配布した。
配布部数 2,500部

ク 国際の日パネル展

時 期 平成23年10月1日(土)～2日(日)
内 容 国際交流や多文化共生に取り組むボランティアやN P O 法人
等の活動を紹介した。
出 展 者 18団体

(4) 地域の国際交流に関するイベント等への協力・支援事業(自主事業)

諸外国との相互理解と友好親善を深める交流事業を開催する企業や団体を支援
するため、P R ちらしの翻訳やT I A 紹介ブースを出展した。

ア 日本文化体験デー

主 催 公益財団法人あすて
時 期 平成24年3月11日(日)
場 所 公益財団法人あすて
内 容 茶道・書道・華道・きもの着付け・字手紙・竹細工・琴・和太
鼓・そば打ち・空手道などの体験イベント
参 加 者 107人

イ ボランティア交流会

主 催 トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部

		トヨタボランティアセンター
時 期		平成24年3月31日(土)
場 所		トヨタ自動車株式会社 トヨタ会館 2階 大ホール
内 容		豊田市内および近隣で活躍するボランティア団体による活動紹介及び発表。
参 加 者		330人

(5) 国際協力機構(JICA) ボランティア説明会開催事業(自主事業)

独立行政法人国際協力機構(JICA:ジャイカ)の海外ボランティア派遣事業の説明会を開催し、シニアや日系ボランティア等への参加や国際協力への理解・促進に努めた。

ア 春の説明会

東日本大震災の影響で中止。

イ 秋の説明会

時 期 平成23年10月8日(土) 午後2時~4時

参 加 者 28人

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動等の支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業(自主事業)

通訳、交流、支援などを行うボランティア297人が登録し、多様な活動を展開した。「国際の日」関連行事などでボランティアの協力を得て事業を進めた。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人またはグループボランティアは、年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図った。

ア) 個人ボランティア

通訳・翻訳

交流企画・推進ボランティア

業務サポート(機関誌発送作業など)

ホームステイ・ホームビジット

イ) グループボランティア

国際交流

オープンハート

日本文化紹介

国際協力

ほづみ会

外国人住民と交流・支援

E-IFF

ひらがなういずゆー

日本語サロン

学習・情報提供

ALPHA日本語教室
日本語教室はじめのいっぽ
英語ボランティアGLOBE
華豊中国語教室
海外生活体験者グループ

(2) ボランティア意見交換会の開催（自主事業）

TIAとボランティアグループの事業や活動状況の情報を共有するとともに、ボランティア活動環境の整備に努めた。また、平成24年度の国際の日事業に関して協力を求めた。

時 期 平成23年5月29日（日）
平成24年1月8日（日） 計2回
参 加 者 各グループ代表者及び中堅層

(3) 市内の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業（豊田市委託事業）

小中学校の総合学習や交流館等で取組が行われている国際理解教育プログラムの実施について講師派遣・施設の訪問受入れ・情報提供等の支援を行った。

相談件数 7件
対応件数 6件 講師紹介4校、情報提供1校、施設訪問対応1校

(4) 子ども英語交流補助ボランティア（自主事業）

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣した。

時 期 平成23年5月～平成24年3月
派遣校数 16校
派遣人数 20人

(5) 国際理解教育セミナー（豊田市委託事業）

人権・平和・開発・環境など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、セミナーを3回実施した。
ア ワークショップ・ミニ講演「何かできそう！外国人の子どもの教育サポート
あんなこと・こんなこと」

時 期 平成23年6月16日（木）午後1時30分～3時30分
受 講 者 50人
協 力 NPO法人子どもの国、NPO法人トルシーダ、豊田市立西保見小学校、豊田市立東保見小学校

イ ワークショップ「“食べる”から世界が見える 地球の食卓ワークショップ」
時 期 平成23年7月23日（土）午後2時～4時

受 講 者 16人
講 師 宮崎花衣（NPO法人開発教育協会）

ウ ワークショップ「こんな未来を創りたい～共に生きる社会へのヒント～」
時 期 平成24年3月3日（土）午後1時30分～4時30分
受 講 者 19人
講 師 平野木恵（NPO法人NIED・国際理解教育センター）

（6）外国語講座（豊田市委託事業）

ア ハングル講座

我々にとって身近な国である韓国の言語・文化を学び、理解を深める機会を提供した。

時 期 前期：平成23年5月10日～9月13日
毎週火曜日 午後2時～3時30分 全18回
後期：平成23年10月28日～平成24年3月9日
毎週金曜日 午後6時30分～8時 全18回
受 講 者 前期19人、後期20人

イ 中国語講座

市内外国人登録人数が第2位である中国の文化を、言葉の学習を通して図るとともに、日本人と中国人の友好親善の機会を提供した。

時 期 前期：平成23年4月19日～7月12日
毎週火曜日 午後6時30分～8時 全12回
後期：平成23年9月8日～12月15日
毎週木曜日 午後6時30分～8時 全15回
受 講 者 前期16人、後期17人

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルの講座を開催し、市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を深める機会とした。

時 期 平成23年10月4日～12月20日
毎週火曜日 午後7時～8時30分 全12回
受 講 者 13人

エ その他外国語講座

上記以外の外国語講座について、豊田市内のニーズや講師の確保に応じて開講し、いずれも12回を1ターム（3か月程度）で開催した。

ア) ポルトガル語

時 期 平成23年7月6日～9月28日

毎週水曜日 午後6時30分～8時 全12回
 受講者 16人

イ) フランス語

時 期 平成23年10月7日～12月23日
 毎週金曜日 午後1時30分～3時30分 全12回
 受講者 20人

ウ) ドイツ語

時 期 平成23年1月7日～3月24日
 毎週土曜日 午後3時～5時 全12回
 受講者 19人

(7) 小学生国際理解教育学校招待プログラム（豊田市委託事業）

豊田市内の小学生426人に対し、大学生を中心とした市民ボランティアグループによる国際理解教育を実施した。平成23年度より会場をとよたグローバルスクエアだけでなく、希望する小学校については出前授業を行った。詳細は以下の通り。

実施日	学校名	参加学年 児童数	実施グループ	実施授業内容
6/7	東保見	6年 91人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
6/10	衣 丘	6年 94人	愛知淑徳大学	世界の中の日本！！自分の国について説明できるかな？
6/14	西保見	6年 27人	幼い難民を考える会	おもちゃを知らない子どもたち
9/27	大 畑	3～6年 41人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
11/24	足 助	5～6年 33人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
11/25	萩 野	6年 22人	愛知淑徳大学	給食を通して食べ物があることのありがたさを実感する！
1/17	伊 保	6年 25人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
1/31	中 山	6年 93人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
	合 計	426人	※網掛けの小学校は出前授業を行った小学校	

(8) 草の根の国際交流の推進（自主事業）

第9回とよた国際交流市民会議を開催し、各団体の事業計画・報告を実施し、国際交流活動に関する情報交換や事業への協力依頼を行った。

時 期 平成24年3月13日（火）午後1時30分～3時30分

(9) 国際交流市民事業助成金事業（自主事業）

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力・多文化共生を目的とした新規事業への支援を目的に実施した。募集案内は4言語（日本語・ポルトガル語・中国語・英語）で作成した。

内 容 国際交流・協力・多文化共生事業の募集・審査・助成金を交付

申請件数 3団体

交付件数 2団体

助成先 ア) 団体名：オープンハート（T I Aボランティアグループ）

事業名：みんなで応援しよう！世界の人と復興支援
～交流★体験★バザー～

内 容：T I Aで受入れるW C I（ワールドキャンパスインターナショナル）の参加者と市民との国際交流を図り、かつ東日本大震災のためにバザー売上金などを支援金として寄付することを目的とした。多くの人が集まり、W C Iのメンバーも来訪者も交流を楽しんだ。他のボランティア団体にも多く協力してもらい、ボランティアとしての意識が高まった。義援金も送ることができた。

時 期：平成23年8月11日（木）

場 所：豊田産業文化センター多目的ホール

参加者：200人

助成金額：24,796円

イ) 団体名：豊田市稲武地区コミュニティ会議文化部会

事業名：日本を学ぼう

内 容：地域の盆踊り大会に外国人住民に参加してもらい、地域住民との国際交流を図るのが目的。地域の外国人住民が浴衣と盆踊りを体験した。

時 期：平成23年8月12日（金）

場 所：豊田市稲武交流館

参加者：20人

助成金額：43,040円

(10) 自主サークル・後援団体への支援事業（自主事業）

将来的にボランティアグループとしての活動に移行するよう、活動場所の提供や広報への協力などという形でそれぞれを支援した。

(11) とよたグローバルスクエア運営事業（自主事業）

ア ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、新聞、資料、ビデオ等を収集・提供した。

イ インターネットPC、無線LANの設置

多言語で対応できるインターネットPCと無線LANを設置し、とよたグローバルスクエアを訪れる市内在住外国人を含む市民への情報提供を行った。インターネットPCは無料で30分間利用できる。

ウ 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけを提供した。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供した。

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語講座（豊田市委託事業）

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施した。

時 期 前期：平成23年4月9日～9月17日
後期：平成23年10月15日～平成24年3月17日
毎週土曜日 午前9時30分～正午 各期全20回

ク ラ ス 入門～初級レベルの4クラス

受 講 者 56人（前期26人、後期30人）

出身国：ブラジル、中国、韓国、タイ、ペルー、フィリピン他

(2) 緊急雇用創出事業「やっぱり！！日本語講座」（豊田市委託事業）

雇用状況の長期悪化に伴い、増加する外国人失業者・求職者の就職を支援するため、日本語でのコミュニケーション能力の習得を重視した日本語教室を開催した。

時 期 1期：平成23年4月12日～7月1日
2期：平成23年7月5日～9月23日
3期：平成23年10月11日～12月23日
4期：平成24年1月10日～3月23日 各期全11回

いずれも火・木・金曜日

昼間クラス 午後1時30分～3時30分

夜間クラス 午後6時30分～8時30分

ク ラ ス 入門・初級・中級レベルの3クラス

受 講 者 232人（入門85人、初級101人、中級46人）

主な出身国：ブラジル、中国、ペルー、フィリピン、タイ、アメ

リカ他

(3) 外国人多言語相談事業（豊田市委託事業）

土日の休日相談、緊急雇用創出事業及びふるさと再生雇用事業による平日昼間のポルトガル語・中国語・英語の相談窓口を設けた。年間相談件数は、466件となった。

ア 休日ポルトガル語・中国語相談

ポルトガル語（土曜日・日曜日）、中国語（火曜日午後・土曜日午前）の体制で、外国人住民のための相談活動を実施した。

時 期 平成23年4月1日～平成24年3月31日
相談件数 17件

イ 外国人緊急相談（昼間）

不況の長期化に伴う外国人住民からの相談に対応するため、ポルトガル語と英語の相談窓口を平日に設置し、関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時 期 平成23年4月1日～平成24年3月30日
ポルトガル語：毎週火曜日～金曜日 午前10時～午後4時
英語：毎週水・金・日曜日 午前10時～午後4時
相談件数 104件

エ ふるさと雇用再生特別基金中国語相談

増加傾向にある中国人住民の相談に対応するため、中国語での相談窓口を平日にも設置し、市役所を始めとする関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時 期 平成23年4月1日～平成24年3月30日
毎週水曜日～金曜日・日曜日 午前10時～午後4時
相談件数 101件

オ 当協会の職員による相談事業

上記相談員の配置がない時間帯においても、英語・スペイン語については、当協会職員が常時対応した。

時 期 平成23年4月1日～平成24年3月31日
相談件数 224件

(4) 通訳派遣事業（豊田市委託事業）

外国人住民が市民生活を送る上で人道・人権に関わり、また緊急性の高い問題（福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなど）に通訳補助が必要な場合に通訳者を

派遣した。また国際的なイベントなど依頼があった場合は、状況に応じて通訳者を紹介した。

相談件数 18件

〈派遣〉派遣件数 12回

言語 中国語3件、ポルトガル語6件、スペイン語1件、
英語2件

〈紹介〉紹介件数 6件

言語 英語3件、ポルトガル語2件、ハングル1件

(5) 翻訳事業（豊田市委託事業＋自主事業）

市役所など公的機関に提出する公的書類について市民から依頼のあった翻訳を行うとともに、中国人住民への行政サービス等に関する翻訳業務を豊田市から受託し、実施した。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、緊急翻訳ボランティアを募集し、全国の国際交流団体やNPOと連携して、外国人被災者へ行政や関係機関からの情報を多言語で翻訳した。

〈通常対応〉

依頼件数 受託分：中国語42件

その他：145件（英語82件、ポルトガル語35件、中国語
27件、ハングル1件）、出生・結婚証明書の
翻訳など

対応件数：88件（英語38件、中国語45件、ポルトガル語4件、ハン
グル1件）

〈東日本大震災での翻訳支援〉

ボランティア登録者：126人（英語62人、中国語20人、スペイン語
15人、ポルトガル語8人、タイ語5人、
フランス語4人、ハングル4人、ドイツ
語3人、タガログ語1人、イタリア語1
人、トルコ語1人、ペルシャ語1人、ヘ
ブライ・アラビア語1人）

翻訳件数：163件（英語132件、中国語21件、タイ語5件、ポルト
ガル語4件、スペイン語1件）

(6) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座（豊田市委託事業）

大規模災害発生時、豊田市の要請によって出動し、外国人被災者への通訳・翻訳といった言葉の面からサポートを行う人材を確保し、支援に必要なスキルを高めるための講座を行った。平成23年度は災害発生直後の自動参集から外国人対策班の設営・避難所巡回といった初動体制の現地訓練を初めて行った。

時 期 第1回：平成23年11月26日（土）午後1時～4時

第2回：平成23年12月3日（土）午後1時～4時

	第3回：平成23年12月10日（土）午後1時～4時
内 容	第1回 1) オリエンテーション（T I A） 2) 災害時の豊田市の対応（市防災防犯課） 3) 豊田市の外国人市民と災害（市国際課） 4) ワークショップ（T I A） 第2回 1) 講義：「災害時に外国人が直面する課題と支援者に求められる役割」 2) グループワーク： 「もし、24時間後に大地震が起きるとしたら？」 （1、2とも 多文化共生マネージャー 高木和彦） 第3回 1) 実地研修：「災害多言語支援センター設置・運営訓練」 （多文化共生マネージャー 高木和彦） 2) 修了式、ボランティア登録
受 講 者	26人（海外出身者12人、日本人14人）
修 了 者	20人（ポルトガル語8人、英語6人、中国語3人、スペイン語2人、ヒンディー語・ネパール語1人）

(7) とよた日本語学習支援システム支援事業（豊田市委託事業）

平成20年度より開始された「とよた日本語学習支援システム」（豊田市から名古屋大学への委託事業）のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとともに、豊田市と協力しながら、企業及び地域における日本語教室の開催やボランティア募集・派遣等のサポートを随時行い、外国人住民に対する日本語学習の機会拡充を図った。

平成23年度は、平成22年度に引き続き、プログラム・コーディネーター養成講座開催におけるPRや講座運営について支援を行った。

(8) 外国人子弟教育支援事業（豊田市委託事業）

不況により、学習支援の場を求める子どもたちの入室が増加傾向にあるNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用・派遣し、外国人を含む子どもたち全体の教育環境の改善に努めた。

時 期 平成23年4月1日（金）～平成24年3月30日（金）

派 遣 先 NPO法人子どもの国、NPO法人トルシーダ、NPO法人保見ヶ丘国際交流センター、豊田市立西保見小学校、豊田市立東保見小学校 計5団体

公益目的事業 4

国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する

(1) T I A 機関誌発行业 (自主事業)

国際交流に関する情報と T I A の事業案内等のための機関誌「GLOBAL INFO」を発行。県・市町村の国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A 関係者及びボランティアに配布した。

発行回数 年 4 回 (平成 23 年 5 月、8 月、11 月、平成 24 年 2 月)

規 格 A 4 サイズ 4 頁

発行部数 3, 000 部/回

(2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」 (自主事業)

豊田市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載した。

発行回数 24 回 (毎号掲載)

発行部数 約 160, 000 部/回

(3) T I A ホームページの運営 (自主事業)

日本語のほか、多言語相談員を活用し、英語・ポルトガル語・中国語のホームページに T I A の事業を始め、広報とよたの記事を翻訳して掲載し、生活情報の提供に努めた。

その他 ボランティアグループなどの活動計画 (自主事業)

T I A に所属する 11 のボランティアグループ活動の事業に対し、相談と支援を行った。

(1) 国際交流

ア オープンハート

ア) 各種ホームステイにおけるコーディネートを行った。

前述の交流事業 (桜花学園大学留学生、W C I) 以外に下記を受け入れた。

内 容 J I C A 中部平成 23 年度青年研修事業中国研修生受入れ

時 期 平成 23 年 12 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日)

イ) 「みんなで応援しよう! 世界の人と復興支援~交流★体験★バザー~」

内 容 来日中の W C I の参加者と協力して、体験コーナー (竹笛づくり、フェイスペインティング、世界のコスプレ、他) バザー、世界の人とミニゲームをしながら交流を実施。当日のバザーなどの売上金は全て復興支援のために被災地に寄付した。

時 期 平成 23 年 8 月 11 日 (木) 午後 2 時 ~ 4 時 30 分

イ 日本文化紹介

ア) 日本文化体験クラス

内 容 豊田市来訪、在住・在勤の外国人に対し、日本文化体験クラスを随時開催した。(茶道・書道・華道・着付け・折紙・絵手紙)

時 期 平成23年4月1日～平成24年3月31日

参加者 48人

イ) 日本文化体験デー

内 容 茶道・書道・華道・着付け・折紙の一日体験イベントを開催した。

時 期 平成23年10月30日(日)

参加者 20人

ウ) 日本文化体験「やきそばパーティー」

内 容 日本で広く親しまれているファストフード「焼きそば」の調理と試食を体験した。

時 期 平成23年7月3日(日)

参加者 8人

エ) おこしものをつくろう

内 容 ひなまつりのお供え物の「おこしもの」を作る講座を開講した。

時 期 平成24年2月26日(日)

参加者 14人

(2) 国際協力

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的とした講演やバザー、タイ語講座を実施した。

ア) 「第22回ほづみ会の集い」開催(ほづみ会総会)

内 容 中野穂積氏によるタイでの活動近況報告

時 期 平成23年4月9日(土)

参加者 25人

イ) バザーの実施

内 容 民芸品等の販売

時期と会場 平成23年10月2日(日) 国際の日

平成23年10月22日(土) 市民活動センター

平成24年3月4日(日)

ほっとかん祭り

ウ) タイ語講座の実施

時 期 平成23年4月14日～平成24年3月8日
毎月第2木曜日 午前10時～正午
参 加 者 11人

(3) 在住外国人との交流・支援

ア E-IFF

ア) 英語サロンの開催

内 容 英語によるスピーチと質疑応答
時期と参加者

平成23年5月28日(土) 25人

10月29日(土) 24人

平成24年2月25日(土) 30人

イ) 外国人向け日本の家庭料理講習会の開催

内 容 外国人を対象とした英語通訳付き日本料理の講座
時期と参加者

平成23年4月23日(土) 17人

9月29日(木) 3人

平成24年1月21日(土) 4人

ウ) 外国人観光モデルコース作成

内 容 来訪外国人が一人でも楽しめる、英語の市内観光モデルコースの企画、リーフレット作成(1,000部)

エ) その他

海外からの来訪者に対する通訳、翻訳などの依頼に随時対応した。

イ 日本語サロン

内 容 毎週水曜日の日本語教室の開催を通じた外国人住民の日本語学習支援と子育て支援活動の実施

時 期 前期：平成23年4月13日～9月14日

後期：平成23年10月12日～平成24年3月14日

参 加 者 学習者 前期：99人 後期：87人

託児 前期：13人 後期：10人

ウ Alpha日本語教室

内 容 毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づく

りを目的とした各種交流事業（もちつき、バーベキューなど）を実施した。※7月から9月まで、東日本大震災の影響で夏季の電力需要抑制対応により、市内企業の多くが土・日曜日操業となったため、多数のボランティア・受講生が教室活動に参加できず、活動を休止した。

時期と受講者 1期：平成23年5月8日～12月25日 123人
3期：平成24年1月22日～4月15日 53人

エ 日本語教室はじめのいっぽ

内 容 毎週日曜日の午後、入門・初級レベルに特化した日本語教室の運営と外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（日本料理体験・日本文化体験・郊外学習）を実施した。

時期と受講者 前期：平成23年4月24日～9月25日 6人
後期：平成23年10月9日～平成24年3月18日
6人

オ 英語ボランティアGLOBE

毎週土曜日の午後に活動。普段は英語のスキルアップや外国人スピーカーとの交流、イベントの準備などを行った。

ア) ナショナルデーの企画

ボランティアの英語力を生かしてナショナルデーを企画した。外国人講師は英語で講演を行い、ボランティアが逐次通訳する形により、日本語が不得意な講師であっても講演を行うことができた。

内容と時期 平成23年4月10日：アメリカ
平成23年6月26日：オランダ
平成23年8月7日：ハンガリー
平成24年1月15日：フランス

参加者 4回の合計で257人

イ) 東日本大震災復興支援チャリティ・イベント「チェルノブイリの試練を越えて」の開催

内 容 東日本大震災への義援金を募るために、ウクライナ出身の講師によるチェルノブイリ原発事故についての英語講演を行った。講演参加料の他、会場で行われた募金は全額義援金として被災地に贈られた。

時 期 平成23年5月8日（日）

参加者 50人

ウ)「国際の日」多文化共生推進講演会での通訳協力

内 容 ハリス・バイダー氏による講演の逐次通訳を担当して「国際の日」事業に協力した。

時 期 平成23年10月1日(土)

カ 華豊中国語教室

毎週金曜日の夜間、子どもを対象にした中国語、中国の歌、英語の講座を開講。また、11月からは、新たに大人を対象とし、中国語の資格取得を目指したクラスを開講した。

(4) 学習・情報提供

ア ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を平成22年度より3言語(ポルトガル語・英語・中国語)表記も含め提供した。1,000部、年3回発行。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布した。

イ 海外生活体験者グループ

内 容 海外生活サロンを開催し、海外の日本人学校の情報を共有した。

第1回:「ドイツ・フランクフルトでの体験と日本人学校」

平成24年2月4日(土)午後2時~4時

講師:小川範人

参加者:22人

第2回:

「メキシコ・アグアスカリエンテスでの体験と日本人学校」

平成24年2月25日(土)午後2時~4時

講師:菱田知成

参加者:20人

(5) T I A 自主サークル

平成23年度は外国語講座を終えてからも活動を続けるグループが複数あったが、平成23年度末で解散するサークルもあった。平成24年度は、6グループ(スペイン語3・ポルトガル語・フランス語・ハンデル各1)が活動する予定である。

管理部門

(1) 理事会・評議員会開催状況

ア) 理事会

●平成23年度第1回理事会 5月17日(火)

議題

- (1) 議案第1号 平成22年度事業報告及び決算報告について（承認事項）
- (2) 議案第2号 平成23年度第1回評議員会の開催について
- (3) 議案第3号 理事候補者の推薦について
- (4) 議案第4号 評議員候補者の推薦について

報告事項

- (1) 報告第1号 基本財産等の運用状況について

●平成23年度第2回理事会 6月8日（水）（理事全員賛成による文書の決議）

議題

- (1) 議案第5号 副理事長（代表理事）の選任について

●平成23年度第3回理事会 11月30日（水）（理事全員賛成による文書の決議）

議題

- (1) 議案第6号 公益財団法人豊田市国際交流協会就業規則の一部改正について
- (2) 議案第7号 公益財団法人豊田市国際交流協会給与規則の一部改正について

●平成23年度第4回理事会 平成24年3月22日（木）

議題

- (1) 議案第8号 平成23年度補正予算（損益）について（承認事項）
- (2) 議案第9号 平成24年度事業計画及び収支予算（損益）について（承認事項）
- (3) 議案第10号 平成23年度第2回評議員会の開催について
- (4) 議案第11号 理事候補者の推薦について
- (5) 議案第12号 評議員候補者の推薦について
- (6) 議案第13号 監事候補者の推薦について
- (7) 議案第14号 公益財団法人豊田市国際交流協会職員の就業規則の一部改正について
- (8) 議案第15号 公益財団法人豊田市国際交流協会給与規則の一部改正について
- (9) 議案第16号 公益財団法人豊田市国際交流協会特別任用職員の就業等に関する規則の一部改正について
- (10) 議案第17号 公益財団法人豊田市国際交流協会旅費規程の一部改正について
- (11) 議案第18号 平成24年度臨時休館について

報告事項

- (1) 報告第2号 基本財産の運用について
- (2) 報告第3号 賛助会員加入状況について
- (3) 報告第4号 事務局職員への退職金支給に伴う退職金給与引当預金の

- 一部取り崩しについて
(4) 報告第5号 臨時職員の採用について

イ) 評議員会

●平成23年度第1回評議員会 5月31日(火)

議題

- (1) 議案第1号 理事の選任について
(2) 議案第2号 評議員の選任について
(3) 議案第3号 平成22年度事業報告および決算報告について
(承認事項)
(4) 議案第4号 役員等の報酬に関する規程について

報告事項

- (1) 報告第1号 基本財産等の運用状況について

●平成23年度第2回評議員会 3月30日(金)

議題

- (1) 議案第5号 理事の選任について
(2) 議案第6号 評議員の選任について
(3) 議案第7号 監事の選任について
- 報告事項
- (1) 報告第2号 平成23年度補正予算(損益)について(承認事項)
(2) 報告第3号 平成24年度事業計画及び収支予算(損益)について
(承認事項)
(3) 報告第4号 公益財団法人豊田市国際交流協会就業規則の一部改正について
(4) 報告第5号 公益財団法人豊田市国際交流協会給与規則の一部改正について
(5) 報告第6号 公益財団法人豊田市国際交流協会特別任用職員の就業等に関する規則の一部改正について
(6) 報告第7号 公益財団法人豊田市国際交流協会旅費規程の一部改正について
(7) 報告第8号 平成24年度臨時休館日について
(8) 報告第9号 基本財産の運用について
(9) 報告第10号 賛助会員加入状況について
(10) 報告第11号 事務局職員への退職金支給に伴う退職金給与引当預金の一部取り崩しについて
(11) 報告第12号 臨時職員の採用について

(2) 評議員一覧

平成24年3月31日現在

1	評議員	梅村 智子	国際ソロプチミスト豊田 代表
2	評議員	笠井 保弘	豊田市教育委員会 教育長
3	評議員	小島 洋一郎	豊田商工会議所 副会頭
4	評議員	説田 公人	トヨタ自動車株式会社 総務部長
5	評議員	近田 研	社団法人豊田加茂医師会 会長
6	評議員	寺部 暁	学校法人安城学園 理事長
7	評議員	中村 紀世実	豊田市 副市長

(3) 役員一覧

平成24年3月31日現在

1	代表理事	豊田 彬子	豊田ボランティア協会 会長
2	代表理事	今井 康夫	公益財団法人豊田市文化振興財団 理事長
3	代表理事	高津 康孝	トヨタ自動車株式会社
4	理事	丹羽 誠	協同組合豊田市商店街連盟 理事長
5	理事	福田 功二	社団法人豊田青年会議所 副理事長
6	理事	山口 俊行	連合愛知豊田地域協議会 事務局長
7	理事	太田 稔彦	豊田市長
8	理事	小池 実	豊田日伯協会 会長

1	監事	村山 明司	東海税理士会豊田支部 支部長
2	監事	福嶋 兼光	豊田市総務部 部長

(3) 事業体系図

公1 地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

- 公1 (1) 国際親善使節の受入
- 公1 (2) ナショナルデーの開催
- 公1 (3) 「国際の日」事業の開催
- 公1 (4) 地域の国際交流に関するイベント等への協力・支援事業
- 公1 (5) 国際協力機構 (JICA) ボランティア説明会開催事業

公2 地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動等支援に関する事業

- 公2 (1) ボランティア登録・育成・紹介事業
- 公2 (2) ボランティア意見交換会の開催
- 公2 (3) 市内の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業
- 公2 (4) 子ども英語交流補助ボランティア
- 公2 (5) 国際理解教育セミナー
- 公2 (6) 外国語講座
- 公2 (7) 小学生国際理解教育学校招待プログラム
- 公2 (8) 草の根の国際交流の推進
- 公2 (9) 国際交流市民事業助成金事業
- 公2 (10) 自主サークル・後援団体への支援事業
- 公2 (11) とよたグローバルスクエアの運営

公3 外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

- 公3 (1) 日本語講座
- 公3 (2) 緊急日本語講座
- 公3 (3) 外国人多言語相談事業
- 公3 (4) 通訳派遣事業
- 公3 (5) 翻訳事業
- 公3 (6) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座
- 公3 (7) とよた日本語学習支援システム支援事業
- 公3 (8) 外国人子弟教育支援事業

公4 国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

- 公4 (1) TIA機関誌発行事業
- 公4 (2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」
- 公4 (3) TIAホームページの運営

付属明細書

平成23年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸借対照表

平成24年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24 476 570		24 476 570
未収金	5 670		5 670
前払金	147 425		147 425
有価証券	0		0
流動資産合計	24 629 665		24 629 665
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	1 667 919		1 667 919
投資有価証券	1 024 903 080		1 024 903 080
基本財産合計	1 026 570 999		1 026 570 999
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5 450 688		5 450 688
減価償却引当資産	2 042 093		2 042 093
国際化推進支援資金	79 009 759		79 009 759
特定資産合計	86 502 540		86 502 540
(3) その他固定資産			
什器備品	3 299 238		3 299 238
減価償却累計額	△ 2 042 093		△ 2 042 093
その他固定資産合計	1 257 145		1 257 145
固定資産合計	1 114 330 684		1 114 330 684
資産合計	1 138 960 349		1 138 960 349
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6 083 923		6 083 923
前受金	314 000		314 000
預り金	1 702 733		1 702 733
賞与引当金	1 498 910		1 498 910
流動負債合計	9 599 566		9 599 566
2. 固定負債			
退職給付引当金	5 450 688		5 450 688
固定負債合計	5 450 688		5 450 688
負債合計	15 050 254		15 050 254
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1 026 570 999		1 026 570 999
指定正味財産合計	1 026 570 999		1 026 570 999
(うち基本財産への充当額)	1 026 570 999		1 026 570 999
2. 一般正味財産	97 339 096		97 339 096
(うち特定資産への充当額)	81 051 852		81 051 852
正味財産合計	1 123 910 095		1 123 910 095
負債及び正味財産合計	1 138 960 349		1 138 960 349

注) 公益法人会計基準附則1により、公益認定初年度における財務諸表の前年度数値は記載しない。

正味財産増減計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

公益財団法人 豊田市国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	22 540 857		22 540 857	債券運用
基本財産受取利息	22 540 857		22 540 857	
特定資産運用益	427 384		427 384	債券運用
特定資産受取利息	427 384		427 384	
受取会費	1 473 000		1 473 000	賛助会費(個人1口千円・法人1口1万円より)等
賛助会員受取会費	1 473 000		1 473 000	
事業収益	47 342 611		47 342 611	
受託事業収益	44 390 521		44 390 521	市からの事業委託金
参加費等収益	2 952 090		2 952 090	講座受講料等
受取補助金等	4 075 298		4 075 298	市からの人件費補助金
受取豊田市補助金	4 075 298		4 075 298	
受取寄付金	2 100 000		2 100 000	日本語教材への寄付等
受取寄付金(一般)	2 100 000		2 100 000	
雑収益	82 100		82 100	利用者コピー代回収等
受取利息	300		300	
雑収益	81 800		81 800	
経常収益計	78 041 250		78 041 250	
(2) 経常費用				
事業費	66 620 605		66 620 605	協会の事業に要する経費
給料手当	23 422 679		23 422 679	プロパー5名
賞与引当金繰入	1 386 492		1 386 492	同上
臨時雇賃金	19 360 785		19 360 785	パート職員
退職給付費用	1 005 494		1 005 494	プロパー5名
福利厚生費	4 962 781		4 962 781	同上
会議費	242 545		242 545	
旅費交通費	512 700		512 700	講師交通費等
通信運搬費	745 605		745 605	電話料・宅配便等
減価償却費	214 318		214 318	ラウンジ備品償却費
消耗什器備品費	1 433 922		1 433 922	PCやパーティションなど
消耗品費	2 044 197		2 044 197	事務用品
修繕費	59 115		59 115	
印刷製本費	1 501 215		1 501 215	協会機関誌印刷など
燃料費	43 393		43 393	公用車ガソリン代
光熱水料費	110 152		110 152	事務所光熱水費
賃借料	1 589 033		1 589 033	コピー・公用車賃借料等
保険料	184 485		184 485	ボランティア保険等
諸謝金	3 804 820		3 804 820	講座講師料
租税公課	1 416 100		1 416 100	消費税・収入印紙代
支払負担金	695 227		695 227	施設使用に伴う経費
支払助成金	67 836		67 836	市民への助成事業費
委託費	1 537 206		1 537 206	シルバー人材センターへの委託費
支払手数料	239 705		239 705	
雑費	40 800		40 800	
管理費	5 333 081		5 333 081	協会の管理に要する経費
役員報酬	184 000		184 000	理事会・評議員会・監査
給料手当	1 899 136		1 899 136	経理事務
賞与引当金繰入	112 418		112 418	同上
臨時雇賃金	426 545		426 545	法人運営パート職員
退職給付費用	81 526		81 526	経理事務
福利厚生費	351 746		351 746	経理事務
会議費	4 800		4 800	
旅費交通費	32 930		32 930	
通信運搬費	77 852		77 852	
減価償却費	34 718		34 718	事務所備品償却費
消耗品費	72 880		72 880	
印刷製本費	13 125		13 125	
光熱水料費	28 753		28 753	事務所光熱水費
賃借料	93 646		93 646	
保険料	4 680		4 680	
租税公課	2 550		2 550	
支払負担金	1 337 976		1 337 976	市派遣職員共済費等
委託費	304 500		304 500	業者への委託費
支払手数料	206 500		206 500	金融機関への振込手数料等
雑費	62 800		62 800	
経常費用計	71 953 686		71 953 686	
評価損益等調整前当期経常増減額	6 087 564		6 087 564	
特定資産評価損益等	△ 152 918		△ 152 918	
特定資産評価損益	△ 152 918		△ 152 918	
評価損益等計	152 918		152 918	
当期経常増減額	5 934 646		5 934 646	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0		0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0		0	
当期経常外増減額	0		0	
当期一般正味財産増減額	5 934 646		5 934 646	
一般正味財産期首残高	91 404 450		91 404 450	
一般正味財産期末残高	97 339 096		97 339 096	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高	1 026 570 999		1 026 570 999	
指定正味財産期末残高	1 026 570 999		1 026 570 999	
III 正味財産期末残高	1 123 910 095		1 123 910 095	

注)公益法人会計基準附則1により、公益認定初年度における財務諸表の前年度数値は記載しない。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会により定められた「公益法人会計基準の運用方針」(平成21年10月16日一部改正)に基づき処理をしている。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
……期末尾の市場価格等に基づく時価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……法人税法に定める定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
賞与引当金……職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

平成23年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日決定。平成21年10月16日一部改正)に変更した。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1 667 919			1 667 919
投資有価証券	1 024 903 080	0	0	1 024 903 080
小計	1 026 570 999	0	0	1 026 570 999
特定資産				
退職給付引当資産	5 809 248	1 087 020	1 445 580	5 450 688
減価償却引当資産	1 793 057	249 036	0	2 042 093
国際化推進支援資金	79 162 677	3 611 759	3 764 677	79 009 759
小計	86 764 982	4 947 815	5 210 257	86 502 540
合計	1 113 335 981	4 947 815	5 210 257	1 113 073 539

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味 財産からの充 当額)	うち一般正味 財産からの充 当額)	うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	1 026 570 999	1 026 570 999	0	-
小計	1 026 570 999	1 026 570 999	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	5 450 688	0	0	5 450 688
減価償却引当資産	2 042 093	0	2 042 093	-
国際化推進支援資金	79 009 759	0	79 009 759	-
小計	86 502 540	0	81 051 852	5 450 688
合計	1 113 073 539	1 026 570 999	81 051 852	5 450 688

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

保証債務はない。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
kfw	200 000 000	161 780 000	△ 38 220 000
第132回利付国債	298 416 285	297 780 000	△ 636 285
第107回福岡北九州高速道路債券	99 991 300	104 898 100	4 906 800
第86回名古屋高速道路債券	99 985 000	105 050 000	5 065 000
福岡市平成20年度第3回公募公債	33 928 281	35 980 704	2 052 423
ロイヤルバンクオブスコットランド債券	200 000 000	190 800 000	△ 9 200 000
合計	932 320 866	896 288 804	△ 36 032 062

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
豊田市協会公社等運営費補助金	豊田市	0	4 075 298	4 075 298	0	一般正味財産
合計		0	4 075 298	4 075 298	0	

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳はない。

10. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

11. 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3及び4に記載しているため、省略。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1 742 918	1 498 910	1 742 918	0	1 498 910
退職給付引当金	5 809 248	1 087 020	1 445 580	0	5 450 688
合計	7 552 166	2 585 930	3 188 498	0	6 949 598

財産目録

平成24年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			24 476 570
普通預金	豊田信用金庫／本店営業部	運転資金として	13 476 570
定期預金	豊田信用金庫／本店営業部	運転資金として	11 000 000
未収金		公2の平成23年度ボランティア活動保険 返戻金1件	5 670
前払金		公2の平成24年度ボランティア活動保険 1件	147 425
有価証券			0
流動資産合計			24 629 665
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	豊田信用金庫／本店営業部		1 667 919
投資有価証券			1 024 903 080
kfw(ドイツ復興金融公庫債)	大和証券／名古屋支店		200 000 000
東京地下鉄社債	野村証券／豊田支店		92 582 214
福岡北九州高速道路債券	野村証券／豊田支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	99 991 300
福岡市公債	野村証券／豊田支店	管理運用用財産であり、協会の管理運営 に使用している。	33 928 281
名古屋高速道路債券	SMBC日興証券第二公益法人 部名古屋公益法人課		99 985 000
ロイヤルバンクオブスコットランド債	SMBC日興証券第二公益法人 部名古屋公益法人課		200 000 000
利付国債	SMBC日興証券第二公益法人 部名古屋公益法人課		298 416 285
基本財産合計			1 026 570 999
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			5 450 688
普通預金	豊田信用金庫／本店営業部	職員退職給付引当金見合の引当資産と して管理。	2 450 688
東芝無担保社債	岡三証券／名古屋支店法人部		3 000 000
減価償却引当資産			2 042 093
普通預金	豊田信用金庫／本店営業部	備品の減価償却引当見合の引当資産と して管理。	2 042 093
国際化推進支援資金			79 009 759
東京地下鉄社債	野村証券／豊田支店		10 527 986
大阪府公債	野村証券／豊田支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している。	20 160 160
愛知県公債	野村証券／豊田支店		10 473 240
東芝無担保社債	岡三証券／名古屋支店法人部		37 228 000
普通預金	豊田信用金庫／本店営業部		620 373
特定資産合計			86 502 540
(3) その他固定資産			
什器備品	外国語雑誌・新聞書架他7点	公益目的保有財産であり、主に公2の交 流ラウンジに必要な什器備品として使用。 管理運用用財産であり、管理運営に使 用する什器備品の再取得に備え引当てたもの。	3 299 238
減価償却累計額	固定資産の評価勘定科目		△ 2 042 093
その他固定資産合計			1 257 145
固定資産合計			1 114 330 684
資産合計			1 138 960 349
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		公益目的事業の事業費35件及び管理目 的の管理費6件の未払分	6 083 923
前受金			314 000
公2の平成24年度ボランティア登録料9件			62 000
公3の平成24年度日本語講座受講料4件			140 000
法人・個人会費			112 000
預り金			1 702 733
社会保険料	職員・臨時職員		613 352
雇用保険料	職員・臨時職員		265 664
住民税	職員	保険料・税金等の預り分	354 400
源泉所得税	役職員		427 354
源泉所得税	講座講師等		41 963
賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の事務に従 事する職員の賞与の引当金	1 498 910
流動負債合計			9 599 566
2. 固定負債			
退職給付引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の事務に従 事する職員の退職給付金の引当金	5 450 688
固定負債合計			5 450 688
負債合計			15 050 254
正味財産			1 123 910 095